

第3回 奈良市「持続可能な観光」検討懇話会	
開催日時	令和6年1月11日（木）午前10時から12時まで
開催場所	奈良市役所北棟2階 202会議室
参加者	青木 真郎 [(一社) サステナビリティ・コーディネーター協会] 高橋 一 [(公社) 奈良市観光協会] 原田 隆太 [奈良ホテル] 二神 真美 [名城大学] 本保 芳明 [国連世界観光機関 (UNWTO) 駐日事務所] 峯川 郁朗 [奈良商工会議所] 大和 里美 [奈良県立大学] ※50音順、敬称略
担当課	観光経済部観光戦略課
開催形態	(非公開の理由) 情報公開条例第7条第3号
	具体的な非公開の理由等 企業の経営等に関わる情報もあることから、公にすることにより利益を害する可能性があるため。また、率直な意見交換が妨げられる可能性があるため。
意見を求める内容	<ul style="list-style-type: none"> 奈良市の観光の課題解決のために必要な取組について 取組成果の効果的な発信について
概要	<p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 管理責任を明確にするうえでも、マネジメントの組織づくりが大切である。 行政だけでなく、宿泊事業者、旅行業者、民間事業者、市民を含めた体制が必要である。 観光関連産業は人員不足が問題となっているので、従業員満足度を高める必要がある。 持続可能な観光を推進するうえでも、事業者や市民が参画しやすいストーリーやインセンティブが必要である。 環境面での取組も大切だが、事業を継続していくうえでも収益を獲得することが事業者は必須である。そのために観光消費額を上げるなど経済面の課題を解決することが先決である。 10年後、20年後を見据えた奈良のビジョンが必要である。観光が奈良市民にどのような影響を与えるかを伝えることが大切。 奈良の魅力を最大限伝えるためにも専門性、質の高いガイドの育成は必要である。 国際認証は取組を分かりやすく見せる1つの成果である。